



K 中 通 信

学校だより 9号
令和2年11月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>



小雪の 朱を極めたる 実南天

富安風生
校長 星野 久美子

11月22日は、二十四節気の小雪(しょうせつ)です。色づいていた紅葉が落ち、山に雪が降り始める冬の入口の頃、南天の実は鮮やかに朱に染まります。

この先1か月の平均気温は例年より高めのようにですが、ゆっくりと、しかし確実に冬がやって来ます。

令和2年も1月あまりとなりました。今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な面での行動の制限があります。令和元年度卒業式は、感染症予防のために在校生、保護者、ご来賓の出席ができませんでした。その後に迎えた令和3年度入学式も、在校生、ご来賓の出席はかなわず、翌日に始業式を行い、その後は約2か月に及ぶ臨時一斉休業となりました。6月の分散登校を経て、現在、学校は平常の生活を取り戻しつつあります。その間には生徒や職員の努力だけでなく、各ご家庭のご理解、ご支援がありましたことを深く感謝いたします。しかしながら、横浜市の1週間あたりの新型コロナウイルス感染症新規感染者数は、9月下旬以降横ばい状態が続いていましたが、11月に入り急激に増加しています。神奈川県は医療アラートを発出するなど憂慮すべき状況が続いています。これから水も冷たくなって来ます。もう一度「手洗いを丁寧に行なう」「マスクの着用」「三密を避ける」の徹底を指導してまいります。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。引き続き、安心・安全な学校運営に留意してまいります。

このような現状ではありますが、教育活動の中で様々な工夫を行い、学びの継続を目指している例をご紹介します。

①感染症防止のため、2年生がそれぞれ事業所を訪れて学習する職場体験を中止しましたが、ものづくりの魅力伝えるマイスターによる講義や製作実演・体験を、本校体育館で行いました。また、12月には、学区内にある「アーツカレッジヨコハマ」の講師による出前授業を予定しています。昨年度は学生の作品が地域作品展に出展され、大変好評でした。今回の授業で情報処理やデザインなどについて興味や関心をもつ生徒が増えればと考えています。

②感染症防止のため、中学生による宮ヶ谷小スポーツフェスティバルへの参加(宮ヶ谷音頭)や宮ヶ谷小6年生による授業参観・部活動体験を今年度は中止としました。現在、中学校での生活がイメージできるよう、宮田中学校と連携して部活動の様子を動画に編集し、宮ヶ谷小学校に送る準備をしています。今後送られてくる6年生からの中学校生活についての質問(ビデオレター)に、中学生が答える機会を設けます。

③小規模校ならではの縦割り活動は、本校の良さのひとつです。3年生が1年生に学校を案内する活動はできませんでしたが、体育祭の色別を利用して、2年生が1年生向けの自然教室報告会を行います。ラーニングピラミッドでは、覚えたことを他の人に教えると学習定着率が90%になると言われています。主体的な学びになることを期待しています。

④3年生を送る会や卒業式などでの合唱については、横浜市立学校のガイドラインでの音楽の授業に準じて判断をしていきます。また、卒業式についての詳細(参加者、時間、内容等)については、近日中に横浜市教育委員会より発出される予定です。分かり次第ご連絡いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。